

# THE WEEKLY NEWS OF EAST KISARAZU



国際ロータリー第 2790 地区  
木更津東ロータリークラブ  
2018-19 年度

●例会日 毎週水曜日 PM12:30~1:30 ●例会場 オークラアカデミアパークホテル TEL 0438-52-0111  
●事務局 木更津市東中央 3-5-2 第2 三幸ビル 101 TEL 0438-25-0716 FAX 0438-25-0718

## 2018-19 年度国際ロータリーテーマ インスピレーションになろう BE THE INSPIRATION

第 31 回 例会 NO. 2443 2019 年 3 月 6 日 (水)

### ヴェネト地方のパツラーディオのヴィツラ



1994 年登録 世界遺産

#### ■司会進行 山田修平 SAA



- ◆点鐘 渡邊元貴会長 12時30分
- ◆国歌斉唱「君が代」  
Rソング「奉仕の理想」
- ◆出席 会員 50 名  
出席 33 名・欠席 17 名
- ◆出席率 67.34 %

◆前々回出席率 77.77 % 修正後出席率 77.77 %

#### ◆欠席者【敬称略】

石渡正明・齊藤新一・嶋津正和・鈴木秀幸  
三沢 猛・浅野文夫・濱田昌己・林田謙志  
叶川博章・小林裕治・石渡雄悟・小林千晃  
鶴岡大治・藤野宏治・吉田和義・足立宗禪

#### ◆メイクアップ【敬称略】

- ・3/6 定例理事会  
加藤智生・渡邊慎司・松岡邦佳  
藤永範行・林孝二郎・堀内正人  
渡邊元貴・大里光夫・楢山克己

#### ◆誕生祝 【敬称略】

- ・2/28 加藤智生 ・2/29 田口理紗

お誕生日  
おめでとう!



ホームページ <http://ki-east-rotary.ala9.jp>

#### 木更津東ロータリークラブ

会 長 渡 邊 元 貴  
幹 事 大 里 光 夫  
編 集 勝 呂 泰 樹

#### 国際ロータリー

R I 会 長 バ リー・ラ シ ン  
地区ガバナー 橋 岡 久 太 郎  
ガバナー補佐 吉 野 和 弘

## ■会長挨拶・報告



## 渡邊元貴会長

生涯現役という言葉がありますが、年齢を重ねても健康に気をつけながら仕事に打ち込んで、最後はピンピンころり。皆さんの周りにもそのような方がいらっしゃったと思います。当社の最高齢の従業員さんで、昨年暮れに89歳を迎えた方(Kさん)がいら

っしゃいます。この方はまさに生涯現役、ピンピンころりをそのまま体現された方でした。もともと電気屋さんでしたので、施設の営繕部の仕事をしていたに違いない。口癖は、「おれから仕事とったら、死んでしまう」性質は常に朗らか。そして、「何か自分が役に立ってる仕事はないか」ということを考えて、それを実践し続けていました。そして、後始末のいい人でした。先送りするのが大嫌いで、片づけがしっかりしていたのです。亡くなる3日前まで、当社で働いており、大変明るく、愚痴一つこぼしたことのなかった人ですが、一度だけ私に不平を漏らしたことがあります。

「最近の若い連中は、言われたことはきちんとやるが、自分からこうしたほうがいいときづいていても、余計なことだと思ってやらねえんだよ」

Kさんのいう「若い人」というのは、同じ営繕部で働く70歳前後の同僚のことです。小生も経営者として、もっともっと若い人たちに同じ思いでしたので、Kさんの言葉には大きく頷いたので、Kさんの前ではことあるごとに「Kさんを見習おう」とはっばをかけてきました。

今月号の致知に「運と徳」というタイトルでリード文が書かれています。

東洋の古典は一致して運と徳は相関している、と説かれているそうです。

そのリード文は次のように締めくくられています。

「与えられた環境の中で運命を呪わず、不平不満をいわず、最高最善の努力をすること。仕事のジャンルを超えて一流といわれる人たちはこの一点で共通していた。運と徳を高める根幹をここに見る。」

一流の人生を歩む人は、決してテレビにでてくるような有名人だけではないと私は思います。

## ■幹事報告



## 大里光夫幹事

### 1. 幹事報告

1) 本日は、例会終了後定例理事会が開催されますので、理事の方のご出席をお願いします。

### 2. 他クラブからのお知らせ

1) 富津シティ RC より「例会変更のお知らせ」が届いておりますので回覧いたします。

### 3. その他のお知らせ

- 1) 木更津市社会福祉協議会より「福祉バザーのお礼状」が届いておりますので回覧いたします。
- 2) 木更津図書館より「寄附への御礼状」が届いておりますので回覧いたします。
- 3) 東京ガス千葉支社より「事務所移転のお知らせ」が届いておりますので回覧いたします。

### 4. 回覧

- ・富津シティ RC より「例会変更のお知らせ」
- ・木更津市社会福祉協議会より「福祉バザーのお

礼状」

- ・木更津図書館より「寄附への御礼状」
- ・東京ガス千葉支社より「事務所移転のお知らせ」

## ■委員会報告

### ◇ロータリーの友 3月号

### 雑誌担当副委員長 山中 恵会員



「3月は、水と衛生月間です」

### I、横組み

1、「7P～13P」 特集—水と衛生月間—世界中に安全な水を

国連は毎年3月22日を「世界水の日」と定め、水の大切さや、きれいで安全な水を使え

ることの重要性について、世界中の人々と一緒に考えるための日としています。

ロータリーでも、「水と衛生」は6つの重点分野の中の一つ。日本の地区、ロータリークラブが、世界でそして地域で取組む活動を紹介

【事例が7例紹介されています。内3例ご案内】

### (1) きれいな水プロジェクト：2830地区(弘前西 RC) P8

RI 第3330地区(タイ：スラターニ県とナコンシータマラート県)との友好関係によりグローバル補助金を活用した活動を行っている。

① 100万k m<sup>3</sup>の池を掘り、農業用水や飲料水を提供。

② 学校に対し、識字率向上の取組を実施するとともに、「安全な水の提供」を目的に浄水器の設置を推進。(現状25施設設置⇒目標100施設)

### (2) ただ今進行中。ケニアに電気水脈探査機を贈る。(東京中央新 RC) P10

水環境改善を目的に、2008年東京広野 RC とナイロビイースト RC の協力で始まったプロジェクトに、2014年より東京中央新 RC が加わって実施中。

① 東京広野 RC：江戸時代から伝わる「上総掘り井戸」を掘削提供。

② 東京中央新 RC：電気水脈探査機を地区補助金の活用で提供。

これにより、水脈を探り当てる確率が向上。井戸が掘りやすくなった。

### (3) 災害時、水は止まる～東日本大震災の教訓から～(保原 RC) P13

東日本大震災時に、上流ダムからの給水管の破損により、伊達市全域が半月以上断水、この教訓を生かして井戸ポンプの設置を行った。

① 地区補助金を活用して、児童発達支援事務所の駐車場に2018年3月井戸ポンプを設置。災害時には、近隣住民の方々へ、きれいな水を提供できます。

## II、縦組み

### 1、「22P～30P」ロータリーアットワーク

#### (1) 100人で公園を清掃：(前橋東 RC) P26

毎年、春と秋に前橋公園の清掃を行っている。会員、共愛学園 IAC の会員、日本善行会前橋支部、会員企業の社員約100名が集まり実施している。

## ◇ニコニコボックス

### クラブ管理運営委員会

内田 重会員



#### ・堀内正人会員

今日は国際ロータリー第2790地区国際奉仕委員長の高橋様より卓話をいただきます。よろしくお願ひいたします。

#### ・栗坂禎一会員

いよいよ球春の到来です。来る3月9日(土)君津球場において、かずさマジックの「球場開き」が行われます。相手は強豪「JR東日本」です。今年は新人のピッチャーが有望で、好ゲームが期待できます。天気も良さそう、是非応援にお越し下さい。

#### ・加藤智生会員

誕生祝いをいただき、ありがとうございます。52才になりました。これからもよろしくお願ひします。

#### ・田口理紗会員

今年は2月29日はありませんでしたが一つ歳を重ねました。ロータリーに加入させて頂いてから半年たちますが、毎回勉強になることばかりです。

## ■例会アワー



### 国際奉仕・R 財団委員長 堀内正人会員

今日は、2790地区国際奉仕委員長 高橋潤一様に卓話をして頂きます。

### テーマ 「国際奉仕について」

卓話者 2790地区国際奉仕委員長  
高橋潤一様【新千葉RC】



私、本年度国際奉仕委員長を拝命しております、新千葉RC所属の高橋潤一であります。

1968年7月27日創立であり、地区内39番目の歴史と伝統があり、会員数49名を誇り、山田様をガバナーに排出するなど、地区内のリーダークラブに卓話者としてお招き頂き、大変光栄に思います。

山田パストガバナーも近々規定審議会に出席なさるという事で、今さら国際奉仕について話すことはないのですが「そういう考えもあるのか」という程度でお聞きください。

では最初、国際奉仕とその歴史的経緯をお話したいと思います。

ロータリーの第4奉仕部門で、国際理解、親善、平和を推進するために実施する全ての活動を行います。

初期のロータリーには今日の人道的奉仕活動を主体とした国際奉仕の概念はありませんでした。しかし、第一次大戦中の1917年頃より米国やカナダ、ヨーロッパのロータリークラブが各地の避難民や傷病兵、復員してくる軍人に対するボランティア活動や物資援助を行うなど歴史的背景を受けて「奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人および地域社会のリーダーの世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進する」という国際奉仕の概念が、1933年に綱領の第6項目として正式に明文化され現在に至っています。

2度にわたる世界大戦を通して世界平和を願うロータリアンは、1945年には米国合衆国国務省から要請を受けて、49名が国連憲章の原案作成作業に参加したといわれています。これはロータリーの歴史の中でも特筆すべき国際奉仕活動でしょう。

「国際奉仕」と言われると「難しい」「面倒くさい」とお考えになると思います。

現在、地区内25クラブ以上のクラブが海外姉妹クラブを持ち、多方面において国際奉仕事業を行っております。

その内、本年度地区補助金(海外向け)グローバル補助金を申請する計画があるクラブは6クラブ、12%しかありません。

では、補助金を使つての国際奉仕活動をする問題点は何でしょうか？

- ① 補助金制度のハードルが高い 11クラブ
- ② 事業の内容をクラブ内で企画検討できない
- ③ 補助金制度が良く理解できていないなどがあります。

ぜひ、今日のつたない卓話を理解して頂き、広く奉仕事業の一助として頂きたいと思ひます。

我々は恵まれた国、日本のロータリアンとして広く世界を見つめ、人間みな地球人として考えて頂きたいと思ひます。

スイッチを入れれば明るい電気照明がつき、ボタン1つで火がつき、蛇口をひねると水が出る。

この当たり前の生活が、国が違い、人種・民族・宗教が違うだけで貧困に苦しんでいる人がいる事も知らなくてはならないのです。

出来れば、人道的な人間の尊厳を守る奉仕活動を企画して頂きたいと思ひます。

国際ロータリーがグローバル補助金を進める6つの重点事項は、まさにそれに値すると思ひます。

- 平和と紛争予防/紛争解決
- 疾病予防と治療
- 水と衛生設備
- 母子の健康
- 基本的教育と識字率向上
- 経済と地域社会の発展

で、あります。

地区内に27名の米山奨学生と世話クラブがあります。

その米山奨学生の情報、青少年交換留学生の情報など色々な団体との交流を通じて、国際奉仕事業を企画して頂きたいと思ひます。

日本の放置自転車で海外支援  
～1台の自転車が子どもたちの人生を変える～

本年度9月に開催された奉仕プロジェクトのセミナーにおいて頂いた、タイ国アカ族の子供達の支援を行っている原田さんもまさに人道的支援ではないでしょうか。  
また地区は違いますが、東江戸川ロータリーのミャンマーに対する学校建設も、自クラブで世話をしている米山奨学生の夢を手助けした事業であります。

国際奉仕を実行するうえで重要なことは、そのプロジェクトが、

- ① 人道支援に重点が置かれているか？
- ② また、そのプロジェクトの実施国の状況はどうであるか？（政治、経済、地域社会の安定度）
- ③ 国際ロータリーの提唱する6つの重点項目に適合しているか？（グローバル補助金）
- ④ 実施国でのプロジェクトの確実性（責任者の存在）
- ⑤ 実施国におけるロータリー活動はどうであるか？

ほとんどのロータリークラブが、クラブのプロジェクトとして採用した対社会的な奉仕活動が広がっていくことによって、職業奉仕の理念との間に葛藤が生まれてきました。

この2つの考え方を何とか調和する必要があるという事で作られたのが、有名な決議23-34であります。ロータリアンの相互理解と友情を通じながら、究極の世界の平和を目指そうという考えから、国際奉仕という概念が生まれてきます。しかしながら、国によって非常に格差が多く、貧困によって紛争が起こる。そこで貧困を援助することによって結果的に世界の平和に繋げようという発想の中から、世界社会奉仕という考え方が浮かび上がってきて、現在はこれが国際奉仕の主流を占める状況になっているわけです。綱領の付帯事項の第4項目には、国際奉仕の定義が書いてあります。

最後になりますが、国際奉仕プロジェクトを立案するにあたって、限りある活動資金と会員の知識や経験を活かして、国際社会に沿った奉仕プロジェクトの企画、実行をして頂きたいと思えます。効果的な国際奉仕活動とは、国際社会のニーズにあった人道的奉仕の現状調査と、クラブが取り組む活動を特定すべきであります。成果を具体的に図る基準の取りまとめと、クラブに合った方法で実行スケジュールを立てて下さい。

1番重要だと思ふことが、クラブの取り組み方と、活動内容、そしてロータリアンの参加活動と考えております。これにより、クラブの活性化にも繋がると考えております。



目的	自宅から学校まで20～30キロある発展途上国の子ども達に教育の機会を提供する
内容	各地方公共団体が撤去した引き取り手のない放置自転車などを集め選別し、カンボジア、タイ、フィリピン等に無償で譲渡する。継続活用のため、工具や補修部品も一緒に送る。
現状	年間6000台の放置自転車を発展途上国の子ども達に届け、自転車が無ければ学校に行けなかった6000人の子どもの人生を変えている。しかしながら、自転車はまだ不足しており、多くの子どもたちが自転車を待ち望んでいる。経費は、公益財団法人自転車駐車場整備センターの事業費から支出。
仕組み	公益財団法人自転車駐車場整備センターでは、平成3年から、各地方公共団体が撤去した引き取り手のない放置自転車などを集めて仲介団体を通じて発展途上国の交通機関・交通手段が整備されていない地域等に対して無償で譲渡している。自転車は使用可能なものを選別し、組立技術の指導訓練をする目的や輸送効率を高めるため車体を解体して送る。また、継続的に中古自転車の組立・修理をして有効に活用できるように、専用の工具類、新品のタイヤ、チューブ、ブレーキワイヤー、エアポンプ等の部品もあわせて贈与している。しかし、自宅から学校まで距離があるため徒歩での通学が困難な子ども達は依然として多く、供与先からの要望は今後も見込まれている状況である。 <a href="https://jitensha.jp/overseas/">https://jitensha.jp/overseas/</a>



我々ロータリーは、地方公共団体と事業の橋渡し、コーディネートすることによって、公共イメージをあげると共に国際奉仕に繋ぐ。  
全国57自治体がこの事業に取り組んでいます。県内では、浦安市、柏市、千葉市、市川市、船橋市、松戸市、流山市等に財団より説明等をコーディネートする。



点鐘 渡邊元貴会長 13:30